

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年5月19日公表

平成17年 農業物価指数（九州）
（平成12年基準）

農産物価格指数(総合)は1.9%低下、農業生産資材価格指数(総合)は1.9%上昇

【調査結果の概要】

平成17年の農産物価格指数（総合）は103.5となり、前年に比べ1.9%低下しました。

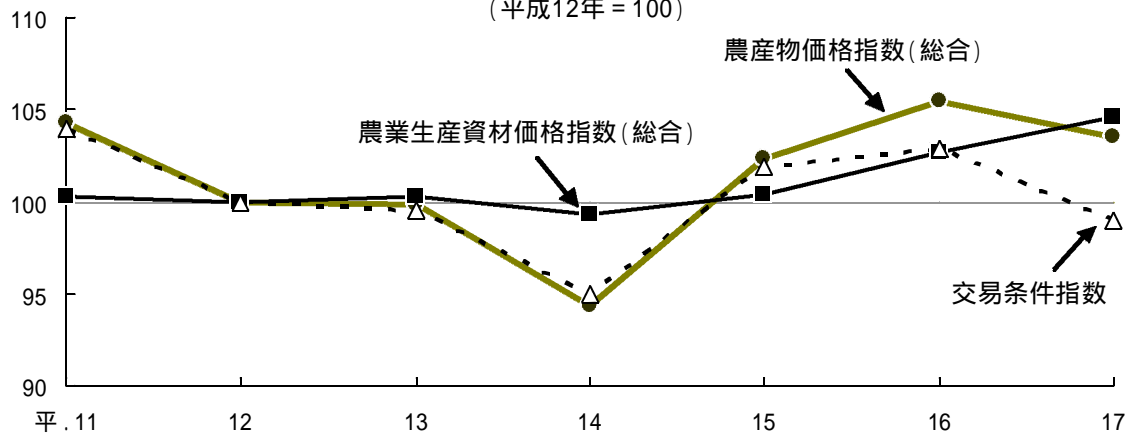
農業生産資材価格指数（総合）は104.6となり、前年に比べ1.9%上昇しました。

これにより、農業生産資材価格指数が農産物価格指数を上回ったことから、農業の交易条件指数は98.9となり、前年を3.9ポイント下回りました。

年次別農業物価指数

区 分	平成12年 = 100								対前年 騰落率 %
	平.11	12	13	14	15	16	17		
農 産 物（総合）	104.3	100.0	99.8	94.3	102.3	105.5	103.5	1.9	
農業生産資材（総合）	100.3	100.0	100.3	99.3	100.4	102.6	104.6	1.9	
（参考）交易条件指数	104.0	100.0	99.5	95.0	101.9	102.8	98.9	-	

注：交易条件指数 = 農産物価格指数（総合）÷ 農業生産資材価格指数（総合）× 100

図1 農業物価指数の動向
（平成12年 = 100）

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

本統計における調査の目的、調査の対象などは【調査の仕様】P 6 に掲載しています。

【 解 説 】

1 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は103.5となり、前年に比べ1.9%低下しました。

これは、畜産物等の価格は上昇したものの、米、果実及び野菜等の価格が低下したことによるものです。

主な類別の動向をみると、次のとおりです。

- (1) 米は11.2%低下しました。これは、台風の被害で不作となった前年に比べ、平成17年産米の収穫量が増加し、価格が低下したことによるものです。
- (2) 野菜は1.3%低下しました。これは、果菜類のいちごの価格は上昇したものの、前年が台風の被害等により、葉茎菜類や根菜類を中心に出荷量が減少し価格が高かった反動によるものです。
- (3) 果実は13.6%低下しました。これは、みかんが表年に当たることや前年が不作であったかきも出荷量が増加し価格が低下したことによるものです。
- (4) 畜産物は5.3%上昇しました。これは、出荷量の減少により鶏卵価格が上昇したほか、米国産牛肉輸入の停止により肉畜価格が上昇したことによるものです。

図2 主な農産物の年次別価格指数の動向
(平成12年 = 100)

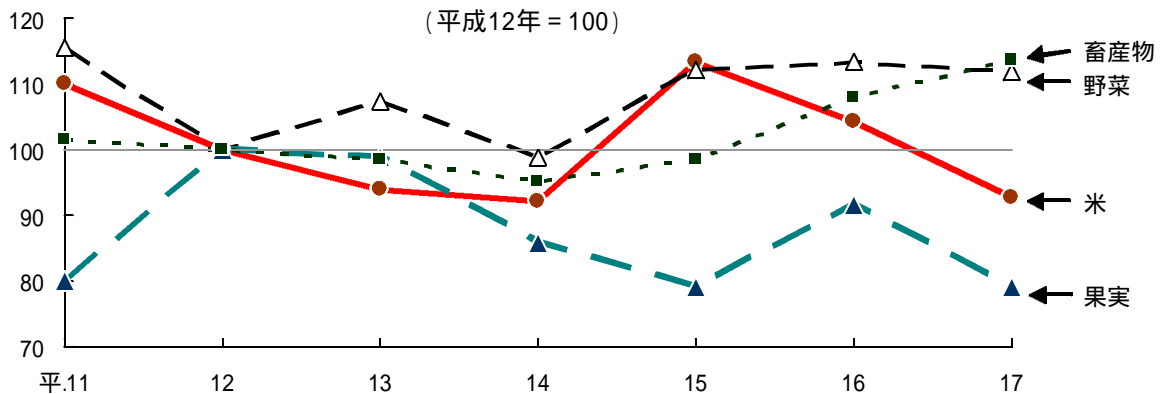
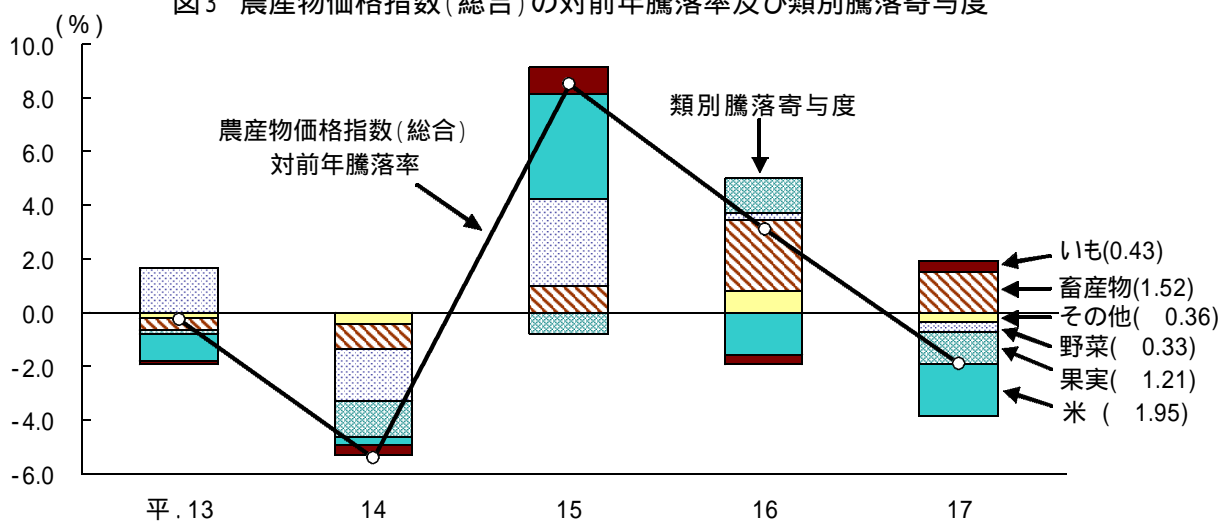


図3 農産物価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：類別騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する各類別指数の寄与度を示したもので、計算式は以下のとおりです。

$$\text{類別騰落寄与度} = \frac{(\text{当年の各類別指数} - \text{前年の各類別指数}) \times \text{各類別のウエイト}}{\text{前年の総合指数} \times 10000} \times 100$$

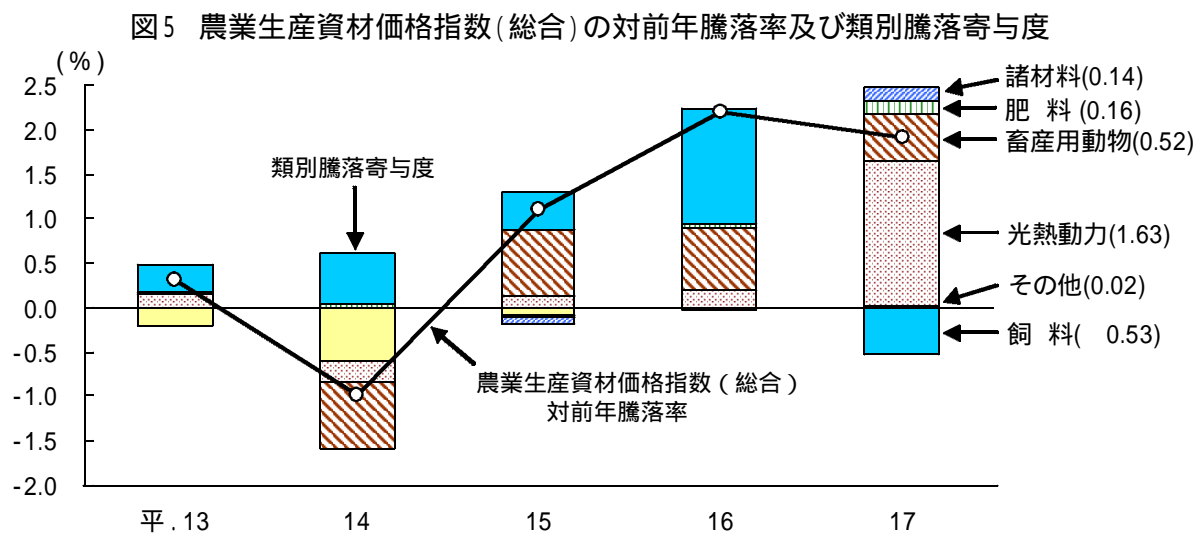
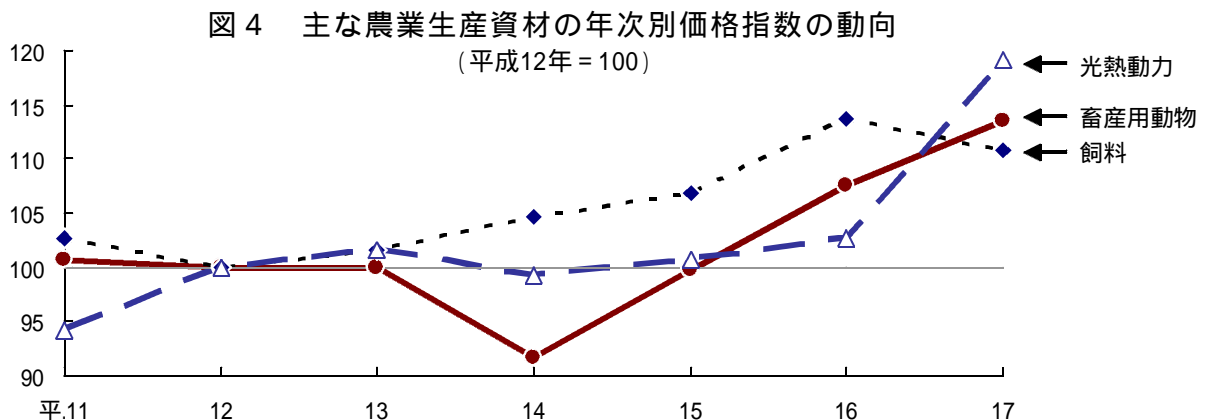
2 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は104.6となり、前年に比べ1.9%上昇しました。

これは、飼料の価格は低下したものの、光熱動力の価格が上昇したことによるものです。

主な類別の動向をみると、次のとおりです。

- (1) 畜産用動物は5.5%上昇しました。これは、肥育用もと畜の価格が上昇したことによるものです。
- (2) 飼料は2.6%低下しました。これは、外国産穀物相場が低下したこと等によるものです。
- (3) 光熱動力は16.1%上昇しました。これは、原油価格の上昇で、ガソリン、重油等の燃料価格が上昇したことによるものです。



【統計表】

1 農産物価格指数

区 分	ウエイト	九 州							対前年 騰落率
		平.11	12	13	14	15	16	17	
農 産 物 (総 合) 1	10 000	104.3	100.0	99.8	94.3	102.3	105.5	103.5	1.9
* 米 2	1 756	110.0	100.0	94.0	92.2	113.4	104.3	92.6	11.2
* 麦 3	303	101.4	100.0	98.0	97.2	94.2	93.4	91.2	2.4
* 豆 4	90	101.0	100.0	88.9	78.4	78.8	120.4	129.8	7.8
* い も 5	214	112.7	100.0	94.7	77.8	121.7	104.9	126.1	20.2
* 野 菜 6	2 298	115.6	100.0	107.2	98.9	112.0	113.3	111.8	1.3
果 菜 7	1 604	117.6	100.0	102.4	98.7	107.4	106.8	108.2	1.3
葉 茎 菜 8	431	111.4	100.0	124.2	98.7	120.3	134.0	127.4	4.9
根 菜 9	255	111.5	100.0	108.1	100.1	126.0	118.1	107.6	8.9
ま め 科 野 菜 10	8	121.7	100.0	110.8	109.9	122.2	149.1	140.5	5.8
* 果 実 11	1 022	79.9	100.0	98.9	85.9	79.1	91.6	79.1	13.6
* 工 芸 農 作 物 12	873	106.8	100.0	101.0	100.6	98.8	99.8	97.7	2.1
葉 た ば こ 13	550	99.9	100.0	100.1	100.0	97.3	97.3	103.2	6.1
茶 (荒 茶) 14	132	112.8	100.0	92.9	87.8	93.0	98.9	88.4	10.6
* 花 き 15	620	98.1	100.0	99.4	91.1	97.1	103.3	99.8	3.4
* 畜 産 物 16	2 816	101.4	100.0	98.5	95.1	98.4	108.0	113.7	5.3
鶏 卵 17	291	99.7	100.0	87.9	89.1	74.0	91.4	112.7	23.3
生 乳 18	465	102.5	100.0	100.1	100.3	102.5	102.3	99.4	2.8
肉 畜 19	1 534	103.4	100.0	100.2	96.2	99.3	110.1	114.3	3.8
肉用牛(去勢肥育和牛若齢) 20	287	103.0	100.0	92.4	86.5	105.6	118.0	123.6	4.7
肥 育 豚 21	417	105.3	100.0	113.0	117.1	97.8	113.9	118.0	3.6
ブ ロ イ ラ ー 22	441	101.9	100.0	100.6	101.3	99.4	101.2	101.9	0.7
子 畜 23	501	98.4	100.0	97.5	90.9	105.9	116.2	125.4	7.9
成 畜 24	25	101.8	100.0	103.2	82.9	99.1	108.7	117.2	7.8
* 稲 わ ら 25	8	97.7	100.0	98.3	93.6	92.4	95.3	95.3	0.0

注：表中の「*」は、類別に区分した項目です。（以下同じ。）

2 農業生産資材価格指数

区 分	ウエイト	九 州							対前年 騰落率
		平.11	12	13	14	15	16	17	
生 産 資 材 (総 合) 1	10 000	100.3	100.0	100.3	99.3	100.4	102.6	104.6	1.9
* 種 苗 及 び 苗 木 2	481	100.2	100.0	100.4	103.8	103.3	102.2	103.1	0.9
* 畜 産 用 動 物 3	902	100.7	100.0	99.9	91.6	99.8	107.6	113.5	5.5
* 肥 料 4	802	101.3	100.0	100.1	100.6	100.4	100.9	102.9	2.0
* 飼 料 5	1 892	102.6	100.0	101.6	104.6	106.8	113.7	110.8	2.6
* 農 業 薬 剤 6	766	100.4	100.0	99.9	99.3	99.3	98.9	98.5	0.4
* 諸 材 料 7	709	99.5	100.0	99.8	99.8	99.0	98.9	100.9	2.0
* 光 熱 動 力 8	1 013	94.2	100.0	101.6	99.3	100.6	102.6	119.1	16.1
* 農 機 具 9	1 636	99.9	100.0	99.4	99.3	99.3	99.7	99.7	0.0
* 自 動 車 ・ 同 関 係 料 金 10	469	100.7	100.0	98.4	97.5	98.0	98.0	98.1	0.1
* 建 築 資 材 11	359	100.3	100.0	98.5	94.9	95.1	93.5	92.7	0.9
* 農 用 被 服 12	52	100.9	100.0	98.0	96.9	96.1	95.5	95.2	0.3
* 賃 借 料 及 び 料 金 13	919	99.6	100.0	100.4	94.8	93.7	94.4	94.9	0.5

〔統計表の見方等〕

表中に用いた記号は以下のとおりです。

「-」：事実がないもの。

「」：減少したもの。

「0.0」：単位未満のもの(例:0.04 0.0)

平成12年 = 100

ウエイト	全 国			区分
	平.16	17	対前年 騰落率	
10 000	105.7	99.7	5.7	1
2 737	102.4	91.9	10.3	2
189	89.4	89.3	0.1	3
99	113.9	108.0	5.2	4
166	105.0	112.1	6.8	5
2 420	115.2	104.7	9.1	6
1 215	105.5	102.0	3.3	7
824	129.0	110.9	14.0	8
307	113.7	96.5	15.1	9
74	128.2	112.4	12.3	10
1 083	99.6	90.7	8.9	11
513	91.7	88.1	3.9	12
170	97.2	102.0	4.9	13
72	80.8	76.0	5.9	14
678	109.9	104.7	4.7	15
2 103	105.4	109.3	3.7	16
178	92.0	109.3	18.8	17
834	101.5	100.3	1.2	18
778	107.8	112.2	4.1	19
124	117.8	124.1	5.3	20
327	109.6	113.7	3.7	21
150	96.1	96.6	0.5	22
277	118.3	127.1	7.4	23
29	110.0	117.2	6.5	24
12	99.9	99.7	0.2	25

平成12年 = 100

ウエイト	全 国			区分
	平.16	17	対前年 騰落率	
10 000	101.6	102.7	1.1	1
585	101.1	101.5	0.4	2
443	111.7	117.0	4.7	3
1 014	100.8	103.2	2.4	4
1 383	115.2	112.5	2.3	5
884	96.5	96.1	0.4	6
764	96.9	97.9	1.0	7
737	103.4	115.9	12.1	8
1 990	97.8	97.4	0.4	9
509	98.6	99.0	0.4	10
569	95.5	95.6	0.1	11
49	98.2	98.2	0.0	12
1 073	98.9	99.5	0.6	13

【調査の仕様】

1 調査の目的

農業物価統計調査は、農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係のある農産物及び農業生産資材の価格を把握し、その結果を総合して全国的及び地域的な農業物価指数等を作成することを目的としています。

2 調査の対象

(1) 農産物生産者価格調査

農産物出荷団体等（農業協同組合、出荷組合、集出荷業者又はその団体、青果物・食肉卸売市場等）

(2) 農業生産資材価格調査

農業生産資材を販売する小売店等

3 調査客体数

(1) 農産物生産者価格調査・・・九州 = 393指定先（全国 = 2,913指定先）

(2) 農業生産資材価格調査・・・九州 = 272指定先（全国 = 1,726指定先）

4 調査方法

農林水産省職員が調査指定先に対して面接又は電話による聞き取り方法によります。

5 集計方法

(1) 基準時

基準時は、平成12年（暦年）1か年です。

(2) 指数採用品目

九州の指数に採用した品目は、農産物104品目（全国123品目）、農業生産資材147品目（全国151品目）です。

(3) ウェイト

平成12年基準の農業物価指数作成のためのウェイトは、平成12年農業経営統計調査「農業経営動向統計」結果の九州販売農家1戸当たりの農産物品目別販売金額及び生産資材品目別支出金額から作成しました。

農産物の総合及び類別の価格指数の算出に当たっては、品目別の月別価格変動を類別指数に的確に反映させるため、類のウェイトを固定し、類内の品目ごとの月別ウェイト（九州の月別出荷量ウェイト）を出回り量によって変動させる「品目別月別ウェイト変動方式」により行いました。

(4) 基準時価格

基準時価格は、農業物価統計調査による平成12年の平均価格によります。

なお、年平均価格は、次の方法で算出しました。

ア 農産物価格

農産物価格は、品目別に定めた必須調査県別の月平均価格に平成11、12年の該当月の県別出荷量によるウェイトを乗じて九州月平均価格を求め、さらにこの九州月平均

価格に九州の月別出荷量ウェイトを乗じて、九州年平均価格を算定しました。

イ 農業生産資材価格

農業生産資材価格は、平成12年の農業生産資材価格調査の調査県別月平均価格の単純平均により九州月平均価格を求め、さらに1月から12月までの12か月の九州月平均価格を単純平均して九州年平均価格を算定しました。

(5) 価格資料

農産物価格のうち野菜については毎月5日、15日現在、野菜以外の農産物については毎月15日現在の農家受取価格を調査しました。

生産資材は、毎月15日現在の小売価格を調査しました。

なお、九州月平均価格及び九州年平均価格については、基準時価格と同様の方法で算出しました。

6 計算式

ラスパイレス式（基準時加重相対法算式）によります。

年平均価格指数の計算式は、以下のとおりです。

a 品目別価格指数

$$I_{ti} = \frac{P_{ti}}{P_{0i}} \times 100$$

I_{ti} ... t年におけるi品目の価格指数

P_{ti} ... t年におけるi品目の価格

P_{0i} ... 基準時におけるi品目の価格

b 総合価格指数

$$I_t = \frac{\sum_i I_{ti} \cdot W_i}{\sum_i W_i}$$

I_t ... t年における総合価格指数

W_i ... i品目のウェイト

7 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していません。

8 用語の解説

(1) 農産物価格指数

農家が販売する個々の農産物の価格を指数化したものであり、類似した商品群ごとに10の類別にまとめて作成しています。

(2) 農業生産資材価格指数

農家が購入する農業生産に必要な資材の小売価格を指数化したものであり、類似の商品群ごとに12の類別にまとめて作成しています。

(3) 農業の交易条件指数

農産物の生産者価格と農業生産資材価格の相対的な関係を示すものとして使用されており、前者が相対的に高くなれば「農業の交易条件は改善した」といいます。

交易条件指数の計算式は、以下のとおりです。

$$\text{農業の交易条件指数} = \text{農産物価格指数(総合)} \div \text{農業生産資材価格指数(総合)} \times 100$$

9 その他

本資料の詳細については、追って刊行する『平成17年農業物価統計』（農林水産省統計部）に掲載します。

【問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部 経営・構造統計課 経営統計第2係

電話：(代表) 096 - 353 - 3561 (内線4742)

(直通) 096 - 353 - 7567

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電話：(代表) 096 - 353 - 3561 (内線4723)

(直通) 096 - 353 - 7556